

はじめに

第3巻では、投資のやり方について具体的に学んでいきます。投資を始めるには、まだ早いと思うかもしれません。ですが、みなさんの中には、学校で勉強するほか、習い事や塾に通っている人もいます。休みの日には、映画を観たり、旅行に行ったりもするでしょう。そこにはお金だけでなく、時間や労力も注いでいることとなります。これらはすべて「投資」なのです。

今やっていることで、すぐになにかが変わったと思えることは少ないかもしれません。ですが、現在のさまざまな経験の積み重ねがみなさんの「将来できること=可能性」を増やしているのです。お金の投資も同じです。どのように投資するかということは、どのように生きるかということなのです。

「投資とはなにか」を学ぶことによって、自分の可能性を上げましょう。

監修 東京学芸大学教育学部生活科学講座 准教授
藤田智子



本書の内容や情報は製作時点（2023年2月）のもので、今後変更が生じる可能性があります。
本書は金融商品の種類や特徴について説明していますが、実際の投資や金融商品の売買などを推奨するものではありません。
実際に投資を行う場合は、取引先の証券会社などで内容を確認、検討の上、ご自身の責任と判断で行うようお願いいたします。

もくじ



はじめに	2
①気に入った企業を探すには？	4
②株式投資の流れ	8
③債券投資の流れ	12
④投資信託の流れ	16
ひと休みコラム	
どうなってるの？	
海外と日本の金融教育	20
税金のかからない投資	
⑤iDeCoとNISAについて	22
⑥ESG投資ってなに？	26
⑦自分自身に投資をしてみよう！	30
⑧投資マインドを身につけよう！	34
さくいん	38
エピソードまんが	
投資の役割	39



⑥ ESG投資ってなに？

Social Governance

環境問題や社会問題の改善に取り組む

企業に投資するESG投資について学びましょう。

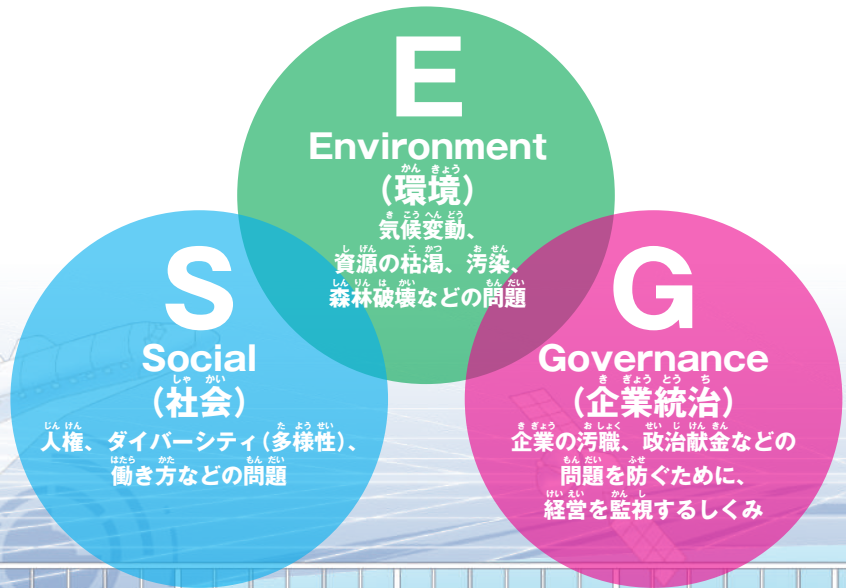
ESGに取り組む企業に投資する

ESG投資のESGは、「環境」「社会」「企業統治」の英語の頭文字を取ったものです（下の図を参照）。

投資家の多くは、投資をするとき「今後、株価は上がるのか」「会社の業績はいいか」などと、企業の経営状況の良し悪しで投資先を選びます。投資をして利益を得るためには、この考え方が必要です。しかし、企業の業績が上がり、世の中の経済が発展する一方、気候変動などの環境問題、多様性の推進などの社会問題、企業の不祥事

などの企業統治の問題も考えなければいけません。これらの問題は、企業の中長期的な成長や社会の持続可能性にも影響を及ぼします。そのため、世界的に多くの企業が、これらの問題の改善に取り組んでいます。

ESG投資は、こうした社会の課題に取り組む企業を応援する投資です。投資家が応援することで、改善の手助けをすることになり、長い目でみると、投資の利益が上がることにもつながると考えられています。



ESG投資はSDGsの達成につながる

ESG投資は世界共通の目標、SDGs（持続可能な開発目標）を達成するための方法のひとつともいえます。このSDGsは、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指

す、国連で定められた世界共通の目標です。2030年を達成する期限として、「5つのP」といわれるキーワードと17の目標があります。

「5つのP」と17の目標

People (人間)

すべての人の人権が尊重され、尊厳を持ち、平等に、潜在能力を發揮できるようにする。貧困と飢餓を終わらせ、ジェンダー平等を達成し、すべての人に教育、水と衛生、健康的な生活を保障する。



Prosperity (豊かさ)

すべての人が豊かで充実した生活を送れるようにし、自然と調和する経済、社会、技術の進展を確保する。



Planet (地球)

責任ある消費と生産、天然資源の持続可能な管理、気候変動への緊急な対応などを通して、地球を破壊から守る。



Peace (平和)

平和、公正で、恐怖と暴力のない、インクルーシブな（すべての人が受け入れられ、参加できる）世界を目指す。



Partnership (パートナーシップ)

政府、民間セクター、市民社会、国連機関を含む多様な関係者が参加する、グローバルなパートナーシップにより実現を目指す。



⑦ 自分自身に投資をしてみよう!

ここまで読んできた投資の知識をふまえて、
今度は自分に投資することを考えてみましょう。

自分に投資するってどういうこと?

ここまでみてきた投資とは、将来利益が出ることを見込んで、金融商品を購入し運用することでしたが、もっと広い意味で投資を考えてみましょう。それはあなた自身が将来、もっと成長した自分になるために、今できることをしておくということです。それを「自己投資」といいます。

例えば、将来アメリカやイギリスなど海外の大学に留学するという目標を立てたとしましょう。そうすると英語のスキルを上げなければならないので、学校で英語を勉強するだけでは足りないかもしれません。ですから「英会話の教室に通う」「英語の教材を買う」などのために、時間やお金をかけるのが「投資」です。そして目標に到達するために、自分自身で一生懸命がんばることが「運用」といえるでしょう。英語のスキルを上げて、目標の海外留学を果たせば、留学を通して英語

のスキルをさらに上げ、多くの貴重な経験をえられるかもしれません。そして英語の教師になったり、英語を使う会社に勤めたりすることができれば、英会話教室や教材にかけた金額以上のお金を稼いだり、貴重な経験をしたりすることにもつながります。

そうなればあなたの自己投資は成功といえるでしょう。自己投資は、自分の人生を豊かなものにしていく方法でもあるのです。



将来のために、
今できることをやろう!

中学2年生
Aさんの自己投資(例)



自己投資 その①

英語の教材で勉強する

教材を買うお金や、勉強するための時間を投資して、英語力をみがきます。英語検定やTOEICなどの受験のために、お金や時間を使うのも自己投資です。

自己投資 その③

英会話教室などで学ぶ

塾や予備校、英会話教室などに通って、英語を専門的に学びます。入学金や授業料、教材費などがかかるので、それなりの金額を投資することになります。もちろん勉強するために、あなたの時間も投資しなければなりません。

自己投資 その②

留学したい国の情報を集める

正しい情報を持っていることは、とても大切な資産だといえるでしょう。留学したい国の情報は本やインターネット、学校の先生などから聞いたりして集めます。

自己投資 その④

留学できる学校を目指す

行きたい国の学校に留学する制度がある高校や大学に、進学するのもよいでしょう。その学校の入学試験や学費、実際に留学するときなどにはかなりの費用がかかるので、保護者と相談しながらお金を投資してもらうこととなります。

このほか、海外留学のための奨学金制度を利用したり、アルバイトをして海外留学の資金を貯めたりすることなども、海外留学をするという目標を実現するための自己投資といえます。

奨学金制度

家庭の事情や経済的な理由で学ぶ機会が損なわれないように、資金の援助をする制度。給付、無利子、貸与などの種類があります。